

「イスラム国」の野望
高橋和夫氏（放送大学 教授）

21世紀アジア学会大会 講演
平成28年1月30日

高橋 和夫（たかはし かずお）

【略歴】

福岡県北九州市生まれ
福岡県立小倉西高等学校卒
大阪外国語大学外国語学部ペルシア語科卒業
アメリカ合衆国コロンビア大学国際関係論修士、
クウェート大学客員研究員などを経て、1985年
から放送大学教員

【主な著書】

『アラブとイスラエル』（講談社1992年）
『燃えあがる海』（東京大学出版会1995年）
『アメリカとパレスチナ問題』（角川書店2001年）
『イランとアメリカ』（朝日新聞出版2013年）
『国際理解のため』（放送大学教育振興会2013年）
『イスラム国の野望』（幻冬舎、2015年）
『世界の中の日本』（放送大学教育振興会、2015年）
『パレスチナ問題』（放送大学教育振興会、2016年）など

【放送大学のテレビとラジオにおける担当科目】

『現代の国際政治』、『世界の中の日本』（テレビ）
『国際理解のために』（ラジオ）など



21世紀アジア学会大会 当日配布講演資料

作成 高橋和夫氏 編輯 濱田英作 (21世紀アジア学会講演担当理事)

《「イスラム国」の野望》

イスラム国の急拡大

イラクは、なぜアメリカ軍撤退まで安定していたのか？

ペトレイアス將軍

シリアのアサド政権の巧妙な作戦

なぜ若者はイスラム国を目指すのか？

アルカーイダとIS＝ガラケーとスマホの喩え

イスラム国の統治の実態

旧バース党と旧イラク軍の活用

アメリカと国際社会の対応

誰が地上で戦うのか？

イラク中央政府軍

スンニー派部族の懐柔

クルド人部隊

イラン革命防衛隊

シーア派民兵

自由シリア軍

劣勢に立つISのテロ戦術

問題点

敵は誰なのか？

アサド政権か、イスラム国か？

なぜアメリカの陸上部隊は介入しないのか？

講演概要

高橋和夫氏による本講演は、いままさに中東において熾烈に繰り広げられているシリア内戦と、その状況下における国際情勢の間隙を突く形で勢力を急伸長させた、いわゆる「イスラム国」について、最新の情報を、パワーポイントのスライドショーを駆使した懇切かつ明瞭なプレゼンテーションによって会員に提供・説明し、分析を加えた、まさに時宜を得た内容であった。

聴講者も、教員・学生併せて200名以上が参加し、熱心に内容に聴き入った。また特筆すべきは、大会終了後の懇親会の席においても、なおも講演者に質問し、より詳しい説明を求める学生の姿が見られたことで、その点においても本講演は、大きな成功を収めたものと思われる。

概要はレジュメのとおりであるが、まずはイラク戦争後、および「アラブの春」以後の西アジアの政治的混迷とイスラム教世界の内部の対立状況を、アメリカによる戦略の不安定さとともに描き出し、その中で、インターネット技術の劇的イノベーションの下に、最新のメディア戦略を駆使して世界的なシンパを募ることで急伸長を遂げている「イスラム国」の姿を、具体的な映像資料とともに示した、現今の国際情勢に対して、より理解の定着が深まるものであった。

一方で、シェールガス採掘などのいわゆるエネルギー革命によって、アメリカにおける中東原油支配の重要度が低下したこと、およびそのことによりアメリカの世界戦略、なかんずく対アジア戦略が大きく変化を遂げつつあることも指摘され、今後の国際世界とその指針を考える上で、大きな示唆に富む内容であった。

時間の関係上、今後の中近東の勢力バランスの上に最も大きな影響を与えると考えられる、復活しつつあるかつての帝国たるロシアについての講演部分が省略されたことは残念であったが、この要素についても当然、ヒントになるべき言及は行われ、聴講者にとっても考察の契機が与えられたものとなった。

とくに感動を呼んだのは、講演終章における米国アーリントン戦没者墓地の光景提示であり、大義名分の不明瞭な戦争・紛争においてつねに犠牲となるのは、支配層・指導層ではなく、来るべき世界に大いなる期待と希望を抱いていたはずの若い兵士たちであるという、いつに変わらぬ現実が如実に示されて、これは聴講していた学生諸君にも、大いなる衝撃を与えたものと思われる。

総じて言うならば、本講演は、21世紀のアジアおよび世界を、今後数十年に互って生き、支え、切り開いていくことが期待される20代の学生会員諸君に、世界情勢とアジア情勢の現実を見据えるための眼差しと、同時に精神力を、寛容の精神を失うことなく養っていくための教育的効果もあった、きわめて有用かつ有意義なものであったと言えよう。

ご多忙中にもかかわらず、講演依頼を快諾された高橋和夫先生に、この場を借りてあらためて深く感謝し、御礼を申し上げるものである。

(概要文責・濱田英作 21世紀アジア学会 講演担当理事)